



平成28年5月13日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきまして、当社グループ全体の業績及び財政状況に与える影響が大きくないと考えていることから、その公表を行っておりませんが、平成28年3月期の個別業績値と前期実績値の差異が開示基準に抵触いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期個別業績と前期実績との差異（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	303百万円	36百万円	60百万円	1.28円
当期実績(B)	319百万円	▲147百万円	▲31百万円	▲0.57円
増減額(B-A)	16百万円	▲184百万円	▲91百万円	—
増減率(%)	5.31%	—	—	—

2. 前期実績との差異理由

平成28年3月期の実績につきましては、売上高は5.3%増加し319百万円となりました。これは主に、業績の良好な事業子会社からの経営指導料が増加したこと等によるものであります。

経常利益につきましては、増収に伴う増益の要素もありましたが、主に賃貸売上に係る地代が増加、及びASEANへの事業展開や新規事業の立ち上げの為に投資的一時費用が発生したことから、前期と比較しますと184百万円の減益となり、▲147百万円となりました。

また、当期純利益につきましては、平成27年11月13日にお知らせしております通り、特別損失で減損損失(350百万円)を計上したものの、繰延税金負債の取り崩し(642百万円)の影響から経常利益から減益幅が縮小し、▲31百万円となりました。

当社といたしましては、今後も既存事業の強化と共に、ASEAN展開、新規分野進出などの投資的費用を投下し続け、短期的な視点に拘泥せず、中長期的に業績を成長・拡大させていく方針です。

尚、上記記載の減損損失及び繰延税金負債の取り崩しの詳細につきましては、当社が平成27年11月13日に当社が公表いたしました「【特別損失】減損損失の発生、及び、繰延税金負債の取り崩し、並びに平成28年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値の差異、と平成28年3月期（連結）通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。

以上